

《 聖書の言葉 》 ヨハネによる福音書 15章5節

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。

人がわたしにつながっており、

わたしもその人につながっていれば、

その人は豊かに実を結ぶ。

日々の生活における私たちの選びが
ぶどうの木であるイエスの生き方につながり、
より多くの実を結ぶものとなりますように。

保護者の皆様には、いつも本校のカトリック教育に対しまして、ご理解・ご協力くださり、ありがとうございます。

今年度もカトリック通信「一粒の麦」を通して、本校のカトリック教育の一端をわかちあって参りたいと思います。2016年度最初の本号では、1学期に取り組んだカトリック行事やボランティア活動の内容と生徒の感想、そして夏期休暇中のボランティア活動などをまとめております。どうぞお読みください。

また、今年度も日本のカトリック学校の保護者に向けて年3回発行されている「よき家庭」を配布いたします。こちらも合わせてお読みください。

☆カトリック教育

概要 ねらい	本校の創立基盤であるキリスト教に触れ、神の存在を考え、「人がみな、神から愛されている存在」であることを自覚する。「神の愛」を受けて、その感謝の心を隣人に伝えられるように努力する。キリスト教の果たしてきた歴史的役割やキリスト教を基盤とした世界観にも触れる。宗教の授業や、様々な行事・活動を通じて、「感謝の心」「支え合う心」「奉仕の心」を育む。
日々の活動	*瞑黙…授業前後と終礼時、集合時などに行う。「平素より自制する精神力を小さなことによってよく養い、大事における自分を抑制する勇氣と力を備えるため。」(かつての生徒心得より) *お祈り…終礼時に行う。(内容は各学年により異なる)
カトリック研究会	中1から高IIIまでの希望者が、毎週金曜日の放課後に集まり、聖書のわかちあいなどを行う。また、学園祭に参加しミサの準備、進行を行う。その他、年に数回、錬成会(研修センターで一泊し、皆で祈り、わかちあう。)や、キリスト教ゆかりの地への研修旅行などを行う。

☆ボランティア活動

ねらい	カトリック教育の一環として、本校の創立が多くの人に支えられてなされたという歴史を踏まえ、共に支え合うことを目指す。
推進体制	各クラスのNDA (Notre Dame Action) 委員や係、NDA委員会参与や各学年一名のカトリック教育部会担当者などを中心として、行事やLHR (中学はMJプログラムの一環) を通して行っていく。 *MJ: 本校創立者マザー・ジュリーの名に基づいた総合学習の名称

☆NDA委員会を通した年間の取り組み

学園祭バザー、ベルマーク・プルタブ・インクカートリッジ・ペットボトルキャップの回収、チャイルドファンドジャパン (フィリピンの里子支援)、登校路清掃、姉妹校への物資援助、あしなが学生募金、口と足で描く芸術家協会への協力、八幡学園訪問、被災地支援のための募金や物資援助など

今年度も、各学年や委員会などでさまざまな取り組みが行われています。以下に生徒の感想も合わせて1学期の活動の一部をご紹介します。

1学期の活動

〇5月2日～30日 聖母マリアへの献花 (中学生)

伝統的にカトリック教会では、5月を救い主の母である聖母マリアを讃える「聖母月」として、大切にしています。

本校では、毎年始業前と下校時に聖母賛歌を放送し、中学生が校内の聖母像にお花を捧げています。今年も中1が聖堂、中2が職員室前、中3が中学昇降口前の聖母像に各自が聖母を思い、選んで持参したお花を捧げ、共に聖母マリアのご加護を願い「アヴェ・マリア」の祈りを唱えました。



〇5月7日 創立者聖ジュリーの日 (全校生徒)

テーマ: 「Mother's Love ～そして、今支え合おう～」



今年、創立者聖ジュリー・ビリヤール (1751～1816) が亡くなり 200 年という記念の年になります。それに合わせ、私たちノートルダム清心の母であるマザージュリーがフランス革命の動乱期に、特に貧しい子どもたちや女性に対して向けた愛を思い起こせるよう、高校1年生の係生徒が「Mother's Love」というテーマを考えました。また、熊本や世界各地で起きた自然災害の被災者や様々な事情で助けを必要としている人々のことを具体的に意識するために「そして、今支え合おう」というサブテーマを持ち、ボランティア活動に取り組みました。

《今年度の取り組み》

- ・中1・高Ⅲ：世界平和記念聖堂にてミサと講演、聖堂見学や清掃奉仕
- ・中2～高Ⅰ：講堂にてミサ、その後、三学年の縦割りグループでのボランティア活動（ポケットティッシュケース製作、しおり製作、袋製作、雑巾製作、ベルマーク仕分け、清掃）と国際交流
- ・高Ⅱ：観音町教会にてミサと清掃奉仕（観音町教会や登校路、平和大通り）
- ・全校：ジンバブエへの支援物資集めと送料のための募金



ミサ

- ・初めてカトリックのミサに参加しました。祈ったりお話を聞いたりするのがほとんどで、想像以上に厳かで少し驚きました。（中1）
- ・「神は愛です」という神父様の言葉が印象に残りました。目には見えなくても誰かから大切にされていると言ってもらえるのは嬉しかったし、そのような存在になれるよう日頃から意識、行動していこうと思いました。（中2）
- ・神=愛というのが神様が先に私たちを愛してくださったからというのを理解できました。私も他の人に愛を与えられるようになりたいです。（中3）
- ・神父様のお話の中で、「今勉強することでいつかたくさんの人を助けられる」という言葉を聞き、人を助けることに自分がやってきた勉強が役立つのは大きなことで、これからもっと先のことだと思っていたけれど、自分の身近なことでも友だち、人を助ける、愛することができるんだと思いました。（高Ⅰ）
- ・「過去の人々の苦勞があって今の自分がある」という神父様のお話が心に残りました。今の私が存在しているのは、周りの人々のおかげであることを心に留め、思いやりの心と感謝の気持ちを持って生活していきたいと思います。（高Ⅱ）
- ・神父様が聖ジュリーについて、「大きなことをしようと思ったら、困難は大きくなる」と言われたことから、大きな困難を乗り越えたらきっと大きなことが成し遂げられるはずだと前向きに考えることができました。（高Ⅲ）

ボランティア活動（校内）

- ・自分の行動で、その場所がきれいになることがとても嬉しかったです。（中2）
- ・ジンバブエに送る鉛筆の箱詰め作業をしました。鉛筆が2,000本も集まっていたので驚いたし、みんなの気持ちに心が温くなりました。（中2）
- ・普段使用しない非常階段の掃除をしました。人が見ていない所でも、とてもきれいになったので嬉しかったです。（中3）
- ・手縫いで雑巾を作りました。思った以上に大変で、時間もかかりましたが、喜んで掃除の時に使ってもらえたら良いなと思いました。（高Ⅰ）

○6月25日・7月11日 献血推進ボランティア



「保健の授業で、献血について学んだ多数の清心生（高校生）が、献血に協力してくれています」というお知らせを献血ルームピースの方からいただいたことがきっかけで実施されました。

このボランティアは、献血の大切さと献血が身近にできるボランティアであることを知ってもらうため、また特に協力者数が少ない20代、30代の若い世代の方々へ呼びかけ、より多くの方に協力していただけるようにするために行われています。

実際に献血をしたことのある生徒だけでなく、協力したいけれど、年齢や体調などの理由により協力が難しい生徒も一緒になり、街頭で呼びかけを行いました。呼びかけをすることで、通行される方が関心を寄せられ、実際に献血ルームに足を運んでくださる姿を目にし、改めて呼びかけの大切さを感じました。

このボランティアも引き続き行っていきたいと考えています。献血ルームのお近くにいらっしゃることがあれば、ぜひご協力をお願いいたします。

○4月～10月まで（予定） 広島修道院・乳児院訪問（中3）

今年度も4月より土曜日に中3が訪問しています。訪問した生徒たちは、中2の時の体験を思い出しながら、子ども達とふれあう時間を持っています。

○偶数月 JR西広島駅構内清掃活動

いつもお世話になっているJR西広島駅構内の清掃活動を今年度から、二ヶ月に一回行わせていただいています。一学期は、高校NDA委員会の生徒で行いましたが、二学期からは全校に呼びかけ、有志生徒で実施していく予定です。



夏休み中の活動

○カトリック広島教区 2016 平和行事プログラム *事前申し込み不要です。

今年は、例年行っている「聖堂案内ボランティア」に加え、昨年に引き続き若者が主体となり平和を考えていく企画を本校の生徒が担当します。

その他にも、被爆証言や平和のための祈りの集い、子どものためのプログラムなども準備されています。この夏も、プログラムを通して一緒に平和への想いを深めていけたらと思っています。ぜひ、会場にご家族で足をお運びください。

《ノートルダム清心中・高等学校担当のプログラム》

①8月5日（金）

「戦後100年に向けて、私たち若者は、どのように平和を実現していくか？」

第1部 会場：世界平和記念聖堂 時間：13時～14時30分

第2部 会場：多目的ホール 時間：15時～16時30分

②8月6日（土）世界平和記念聖堂案内

会場：世界平和記念聖堂 時間：9時30分～12時30分

○8月17日（水）～21日（日） 東日本大震災被災地支援ボランティア（高I・II有志）

今年度も、カトリック教会支援団体であるカリタスジャパンを通して、17名の生徒がボランティア活動をさせていただきます。大船渡ベース（岩手県）に滞在し、現地スタッフの指示に基づいて活動に参加する予定です。どうぞお祈りください。

次号は、2学期末の予定です。

カトリック教育部会